

## 開会のご挨拶



### 木村 容子 先生

東京女子医科大学附属東洋医学研究所

お茶の水女子大学を卒業後、中央官庁入省（国家公務員1種）

英国Oxford大学大学院 修士課程修了

2000年 東海大学医学部（学士入学）卒業

2002年 東京女子医科大学附属東洋医学研究所 助教

2007年 同研究所 講師

2008年 同研究所 副所長

2010年 同研究所 准教授

2019年 同研究所 所長 教授

本シンポジウムは、『漢方エキス製剤の上手な使い方 - 困ったときの この一手 -』と題し、現代医療に漢方エキス製剤を取り入れる実践的な方法を、各領域のエキスパートの先生方によるディスカッションを通じてご提案いたします。

今回は、循環器内科、耳鼻咽喉科、心療内科、整形外科、皮膚科、女性診療科の先生方にシンポジストとしてご登壇いただき、各診療科領域における漢方治療の実際についてご紹介いただきます。本シンポジウムは、明日からの実臨床に役立つシンポジウムを目指して、二部構成としております。

第一部「困ったときの この一手」では、各診療科領域の先生が日常診療でどのようなことに困り、どのように漢方治療を取り入れているかを、その具体例をご提示いただきます。

第二部「現代の口訣の構築」では、各診療科で幅広く臨床応用されている「半夏厚朴湯」と「柴苓湯」を取り上げ、シンポジストの先生方の使用経験や有効例を通じて各処方での臨床応用、さらには使用目標、すなわち現代の“口訣”を考えてまいります。